



十中だより

令和3年2月4日
文責 奈加晃典

めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

校訓

自主 協働 剛健

いよいよ入試本番!

いよいよ今週6日(土)の県内私学の入試を皮切りに、県外私学入試、公立特色入試、公立一般選抜入試と3月半ばまで入試が続きます。今年の入試は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、インフルエンザによる追検査に加え、コロナウイルスによる追検査も加わりました。先日プリントでも配布させていただきましたが、当日高校での別室受検に加え、後日の受検や出身中学校での受検もあり得ることになります。

受検者本人である3年生が健康や行動に留意するのはもちろんですが、在校生のみなさんも健康状態には気をつけてもらいたいと思います。濃厚接触者や、接触者としてPCR検査を受けることになった場合、検査結果が入試までに間に合わない場合は、自動的に中学校での入試となり、その日は急遽、在校生も登校できなくなります。

新型コロナウイルスの感染拡大に関しては、いくら気を付けていても、いつどこで感染してしまうかわかりません。日々の学校生活や家庭での生活、買い物や外食等も当然あるかと思います。幸い十津川村では未だ感染者は出ていませんが、いつどうなるかは誰にもわかりません。みんなが、気を緩めることなく気を付けることで、少しでもリスクを減らすことはできると思います。ワクチン接種が始まり、抗体をもてるようになる日まで、苦しい日々が続きますが、頑張りましょう。

なお、入試の詳細については、県教育委員会学校教育課のホームページにも掲載されていますので、参考にさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。特に3年生は体調不良を感じたらすぐに学校に連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

ゲーム障害

インターネット等の急速な普及に伴い、ネット依存などが問題になってかなりの年月が経っていますが、今年度春の緊急事態宣言で休校措置になってから、小中高生の間で生活リズムが崩れたまま、取り戻せないでいる子たちが大変多いことが問題視されています。それぞれのご家庭ではどうでしょうか?

「ゲーム障害」はWHO(世界保健機構)が2019年に、国際疾病分類に病気として位置づけられました。広い意味での依存症というよりも、ゲーム障害という病気として位置づけられたということは、それだ

け世界的に見ても深刻であるということです。

2017年の調査で中高生のネット依存が約93万人とされていますので、今では100万人を優に超えていると思われます。

人の行動は、「理性」と「本能」「感情」に左右されるわけですが、ゲーム障害が起きると、理性をつかさどる「前頭前野」の働きよりも、「大脳辺縁系」による「本能」に支配され、自分ではコントロールができなくなります。ゲームから離れている時は、やめたいと思っているのに、いざ始めてしまうと自分ではコントロールできなくなる病気です。その時の脳の状態は、アルコール依存や薬物依存、ギャンブル依存と同じ状態になっているらしいです。特に未成年は「前頭前野」が十分に発達していないので、よけいに障害が起こりやすいと言われています。携帯電話のところで書きましたが、それと同じようにゲームやネットの使用についても、家庭でのルール作りは必要であると思います。ぜひ、本人も交えて話し合い、使用に関してのルール作りをお願いします。

節分・・・なぜ2月2日?

みなさんそう思いませんでしたか?今年の節分は124年ぶりに2月2日になりました。前は明治30年だったそうです。さて、何故なのでしょう・・・

節分は立春の前日と決められていますが、その立春の日がずれることによって起こります。うるう年というものがあることにも関係しているのですが、地球が太陽を一周するのは365日です。しかし、厳密には6時間程度長いらしいのです。その誤差が積もり積もると大きな差となってくるわけです。4年で24時間ずれることになるので、うるう年として2月29日を作って解消しているわけですね。でも、それでも4年で45分くらいはズレが生じるので、400年に3度うるう年を減らすことにしてあり、100で割れる年はうるう年にはせず、400で割れる年はうるう年にするらしいです。少々頭がこんがらがってきませんが、こうやって一日や一年という単位を正確に示すことができるようになっているんですね。こういうことは国立天文台が決めているそうです。

ちなみに、2025年も調整のために、2月2日になることが決まっているそうです。

4年後豆まきをするときには、日確かめてからやりましょうね。

